

2. 日常生活について

(1) 「道路・交通」分野の今後の方向性【新規設問】

問15 人口減少、少子高齢化が進むなか、日常の暮らしを支える「道路・交通」分野について、今後、どのように進めればよいと思われますか。(〇は1つだけ)

※A-道路整備を重視：幹線道路や生活道路、歩道の整備など、道路環境の改善を重視すべき
 ※B-公共交通を重視：鉄道やコミュニティバスなどの公共交通機関の利便性向上を重視すべき

○「道路・交通」分野の今後の方向性は、「Aに近い」(17.1%)と「どちらかといえばAに近い」(16.6%)と合わせると、『Aに近い』が33.8%、「Bに近い」(31.1%)と「どちらかといえばBに近い」(20.1%)と合わせると、『Bに近い』が51.2%で、公共交通を重視する意見の方が多くなっている。

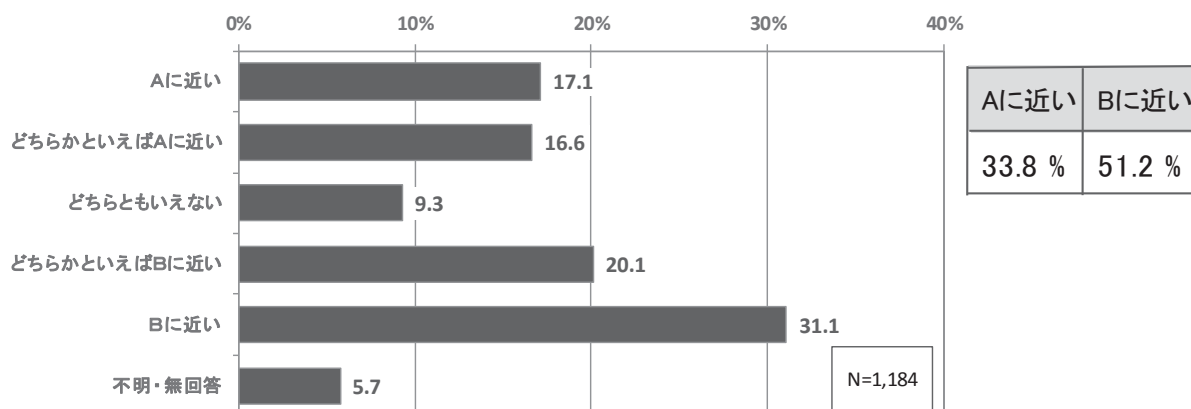


図 62 「道路・交通」分野の今後の方向性

○性別にみると、男性で『Aに近い』(40.3%)が比較的高く、女性で『Bに近い』(57.8%)が比較的高くなっている。

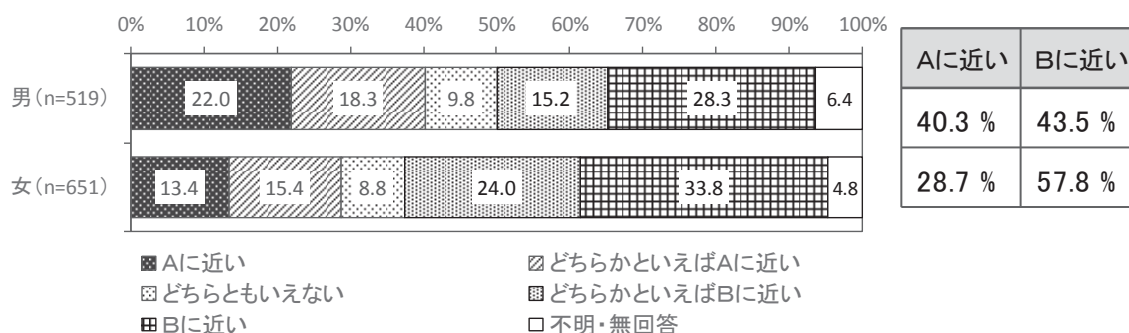


図 63 「道路・交通」分野の今後の方向性《性別》

○年代別にみると、『Aに近い』は60歳代で最も高く38.9%、次いで20歳代以下で37.9%となっている。一方『Bに近い』は50歳代で最も高く59.2%、次いで40歳代で57.7%となっている。

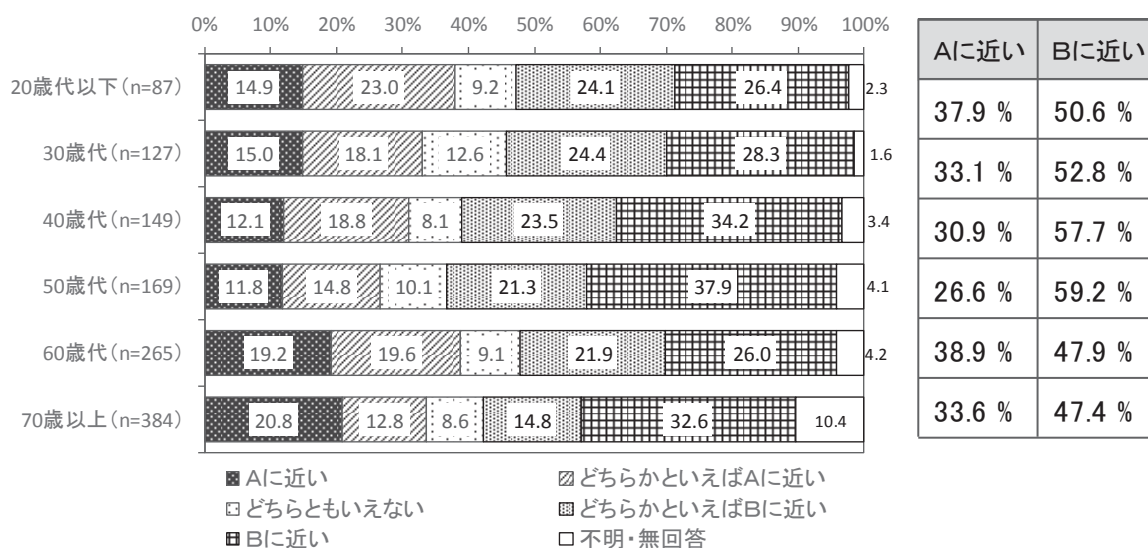


図 64 「道路・交通」分野の今後の方向性《年代別》

○居住地域別にみると、土山地域で『Bに近い』(59.8%)が他の地域と比較して最も高くなっている。一方、信楽地域では『Aに近い』(41.8%)が『Bに近い』(39.2%)を唯一上回っている。

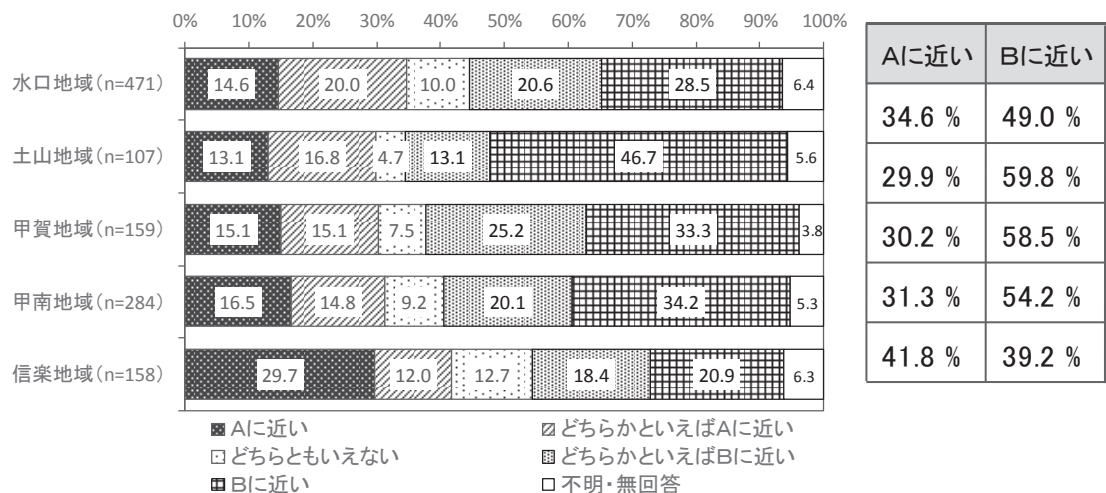


図 65 「道路・交通」分野の今後の方向性《居住地域別》

(2) ごみ出しで困っていること【新規設問】

問16 ごみを出すにあたり、お困りの点はありますか。(〇は1つだけ)

○ごみ出しで困っていることは、「特になし」が51.8%で最も多くなっているが、「分別ルールが複雑で分かりにくい」が20.9%、「洗ったり、たばねたり手間がかかる」が18.0%で2割前後の回答がある。

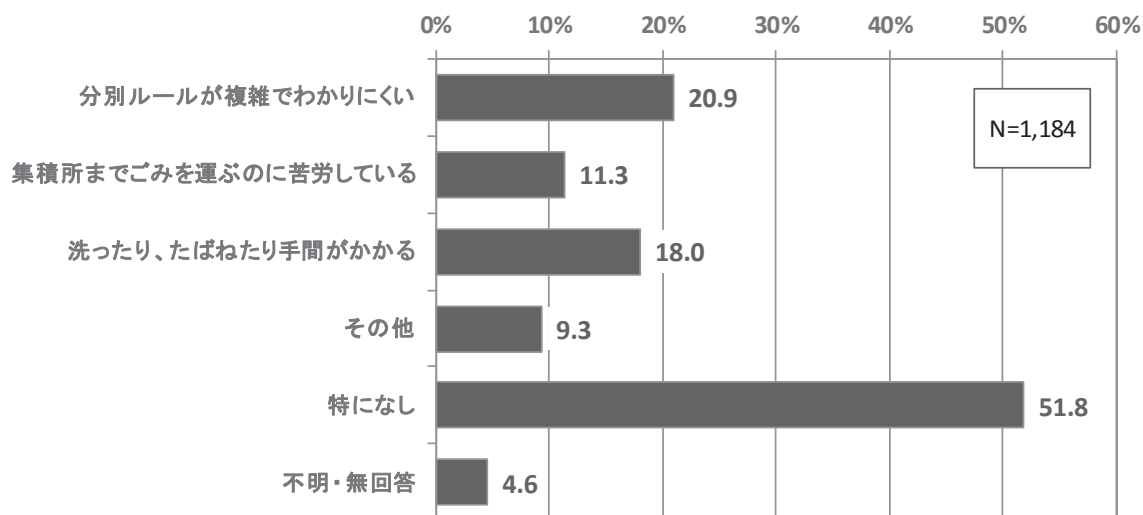


図 66 ごみ出しで困っていること

○性別にみると、「分別ルールが複雑で分かりにくい」が男性(23.5%)でやや高いものの大きな差はみられない。

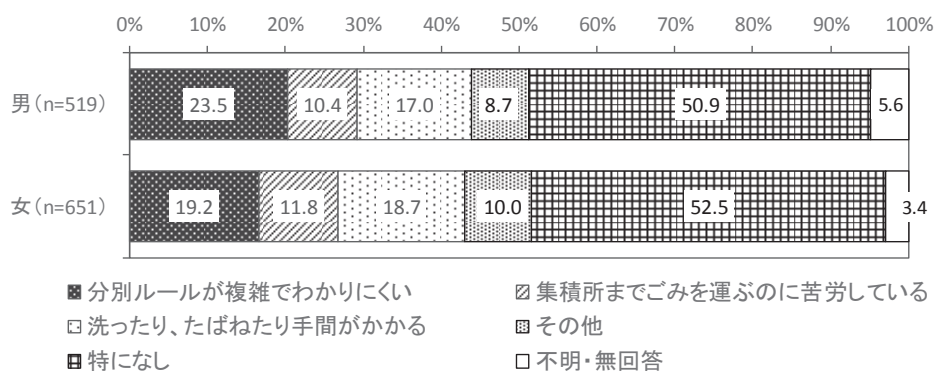


図 67 ごみ出しで困っていること《性別》

○年代別にみると、以下の通りとなっている。50歳代で「特になし」が41.4%と他の年代と比較して低い。

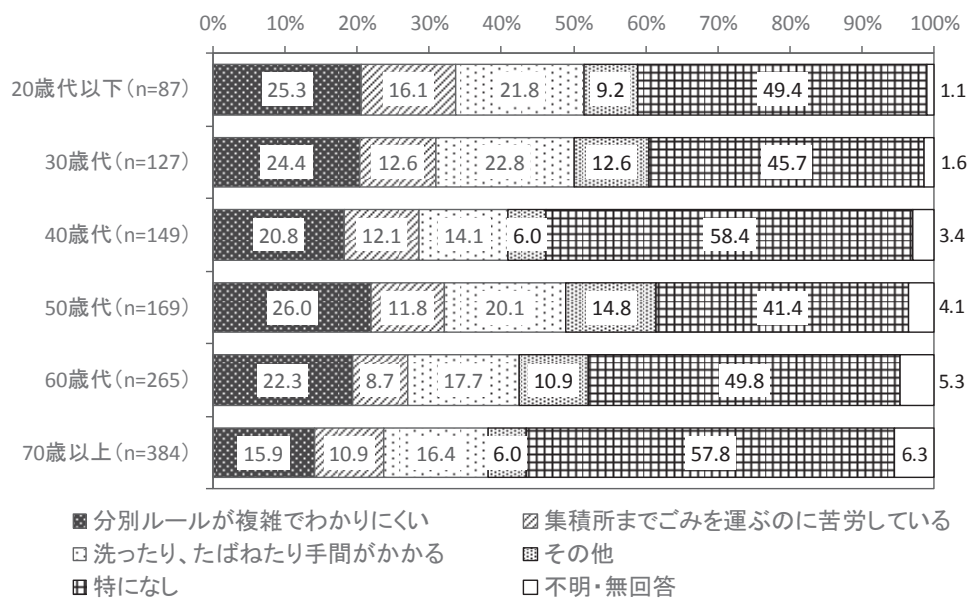


図 68 ごみ出しで困っていること《年代別》

○居住地域別にみると、土山地域で「集積所までごみを運ぶのに苦労している」(15.0%)、「洗ったり、たばねたり手間がかかる」(22.4%)が他の地域と比較してやや高い。

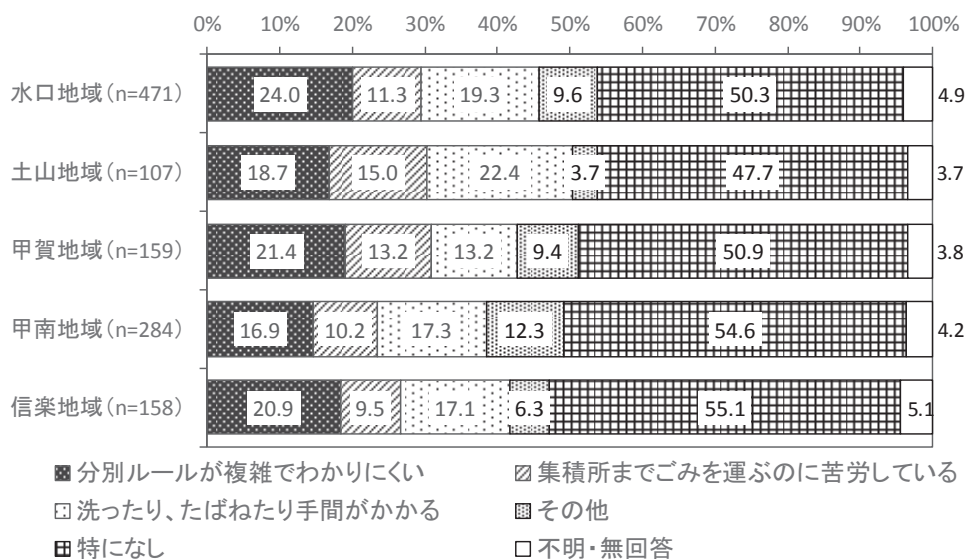


図 69 ごみ出しで困っていること《居住地域別》

(3) 現在のごみの分け方について【新規設問】

問17 現在のごみの分け方をどのように思いますか。可能な範囲で理由もあわせてご記入ください。(〇は1つだけ)

○ごみの分け方については、「現状のままでよい」が66.5%で最も多くなっているが、次いで「分け方を簡単にすべきである」が20.8%と比較的高くなっている。

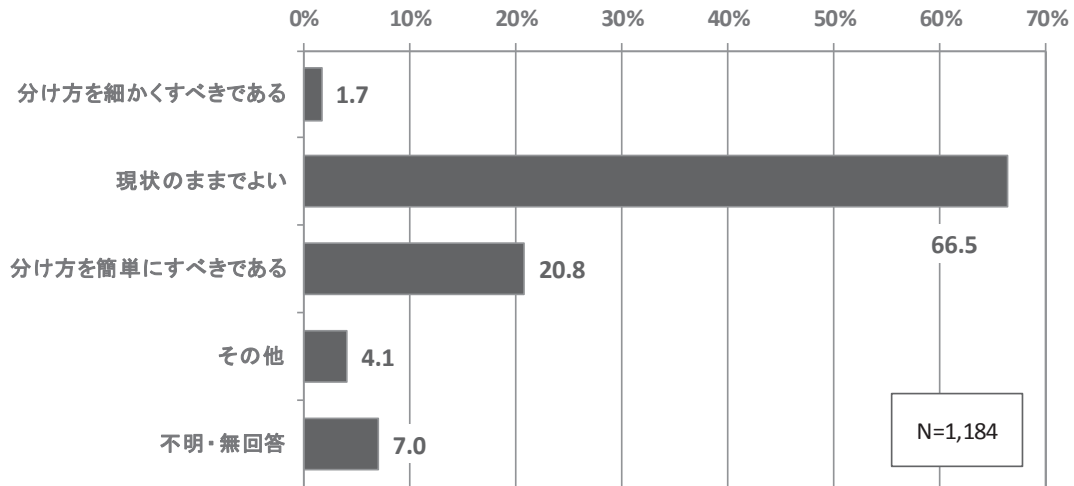


図 70 現在のごみの分け方について

○性別にみると、ともに「現状のままでよい」が6割を超え、大きな差はみられない。

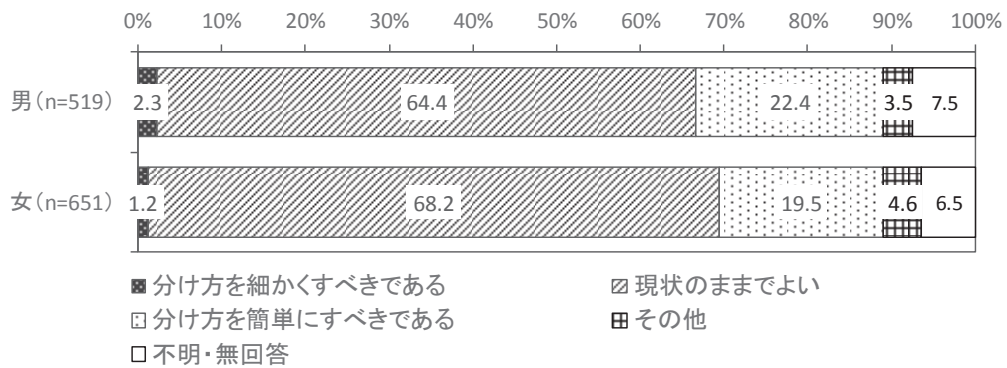


図 71 現在のごみの分け方について《性別》

○年代別にみると、30歳代で「分け方を簡単にすべきである」が29.9%と比較的高くなっている。

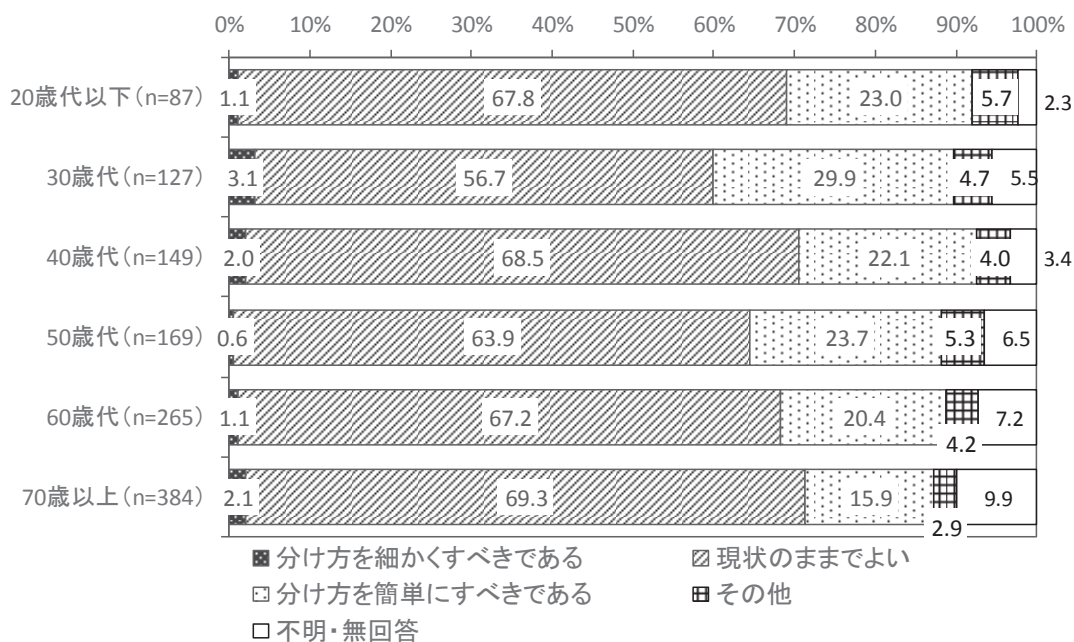


図 72 現在のごみの分け方について《年代別》

○居住地域別にみると、すべての地域で「現状のままでよい」が6割を超えて最も多く、大きな差はみられない。

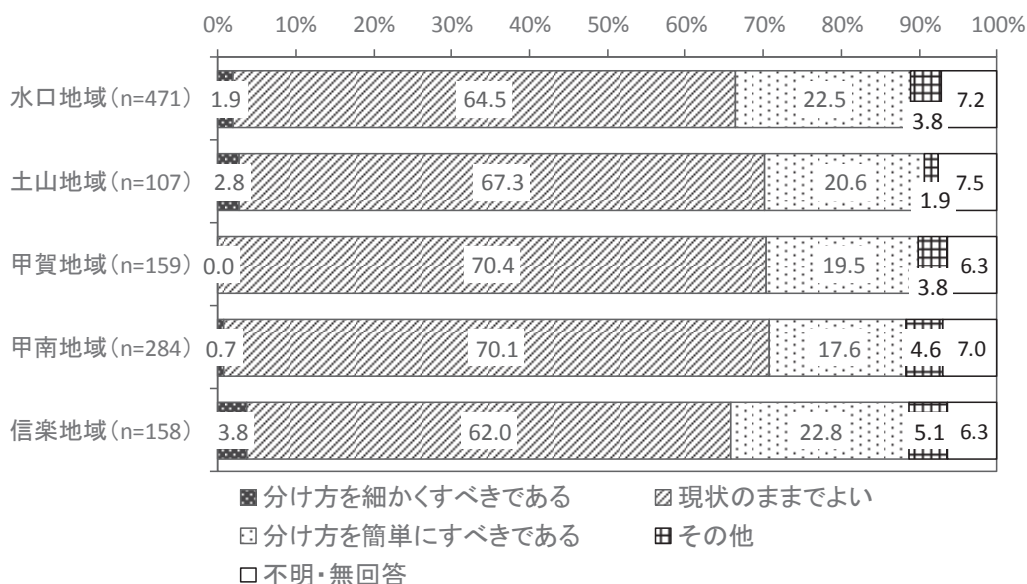


図 73 現在のごみの分け方について《居住地域別》